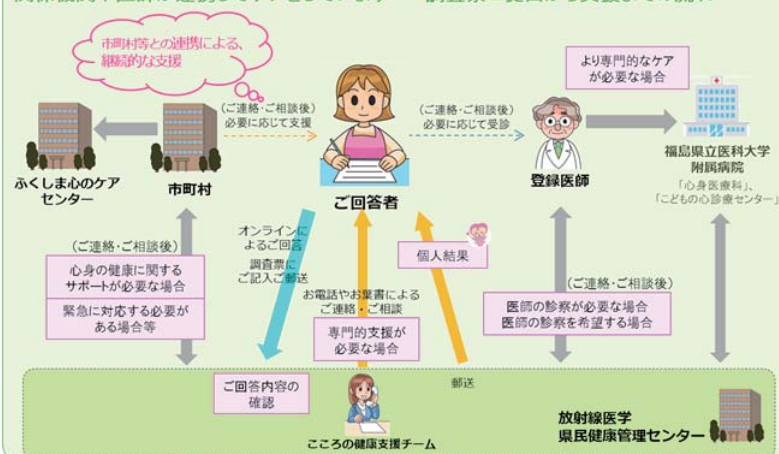


関係機関や医師が連携してケアをしています ～調査票ご提出から支援までの流れ～



※継続した支援が必要と思われる方には、地域の登録医師や市町村、ふくしま心のケアセンターと連携し、継続的なケアを行っています。
※平成26年度より個人結果通知書をお送りしています。

【登録医師】
災害時におけるメンタルヘルスや放射線医療に関する講習会を受講している、精神科・小児科等の医師。
平成29年12月末現在、81医療機関に130名の登録医師がいます。

	電話支援者数		文書支援者数	
	子ども	16歳以上	子ども	16歳以上
平成23年度	1,180	6,310	1,066	10,898
平成24年度	623	5,991	800	10,168
平成25年度	473	3,913	752	7,664
平成26年度	327	3,053	517	6,244
平成27年度	250	2,567	435	6,075

第11、15、19、22、26、27回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

調査票に回答いただいた方には解析結果を個別に返送しています。

解析の結果、専門的な支援が必要と思われる方には、臨床心理士、保健師、看護師等から、お電話をさせていただき、こころの健康や生活習慣に関する問題についてアドバイスや支援を行っています。調査票に電話番号の記載がない方については、文書によりご連絡しています。

電話による支援では、「家族に言えない話ができて良かった」「何か落ち込むことがあればここに電話すれば相談に乗ってもらえると分かって安心した」といった声が寄せられています。

また、継続した支援が必要と考えられる場合や医師の診察が必要と考えられる場合には、ケースに応じて、市町村、ふくしま心のケアセンター、登録医師等へ情報共有し、より積極的な支援の輪を作っていきます。

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成29年12月28日